VIVID 9i 用 測定スタンドセット VI-B38 取扱説明書

測定スタンドセット VI-B38 は、VIVID 9i を取り付けてより安定した測定を行うためのスタンドです。雲台と、雲台を固定するための雲台アダプタを備えており、アームの調整により高位置や前傾姿勢での測定が可能です。

⚠ 組み立て作業上の注意

1. 各パーツのうち、断面が鋭利なものが含まれております。長袖、長ズボン、作業用皮手袋を着用の上、作業を行ってください。
2. 各パーツのうち、重量があるものが含まれております。 指はさみや落下による足先の怪我に注意してください。
3. 作業は二人以上で行い、パーツ保持と組み付けなど作業を分担し、無理な体勢での作業とならないようご注意ください。
4. 作業は十分に広いスペースで行ってください。部品を壁に立てかけたりすると転倒する恐れがあります。

本機の構成

測定スタンドセット VI-B38 は、スタンド部と VIVID 9i 取付部が別々に供給されます。さらにスタンド部は 3 つの箱に分割して供給されます。使用前にこれらを組み立てる必要があります。以下のものが揃っているかご確認ください。

①	脚（左・右区別あり）	2 本
②	六角穴付きボルト（M6）	8 本
③	六角ナット（M10）	3 個
④	六角皿ボルト（M10 六角穴付きボルト）	1 本
⑤	支柱 1 ※昇降ボックス付き	1 個
⑥	支柱 2	1 個
⑦	アーム ※雲台アダプタ付き	1 個
⑧	PC 台	1 個
⑨	底板	1 個
⑩	雲台（VI-A29） ※雲台グリップ付き	1 式
⑪	カウンタウェイト（VI-A30）	2 個

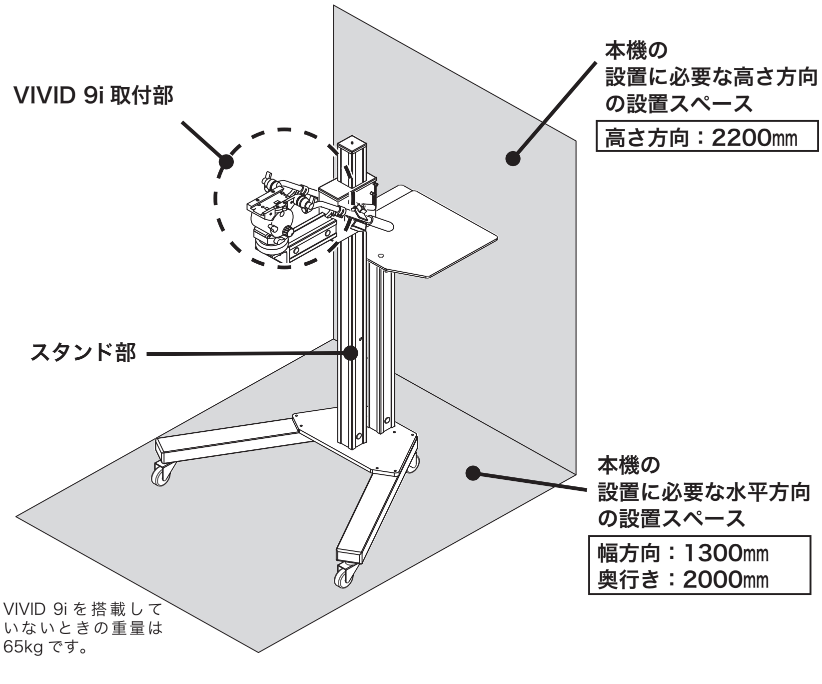
■ **付属工具**

スパナ /M10 ナット用 1 個	六角レンチ（大）/M10 ボルト用 1 個	六角レンチ（小）/M6 ボルト用 1 個

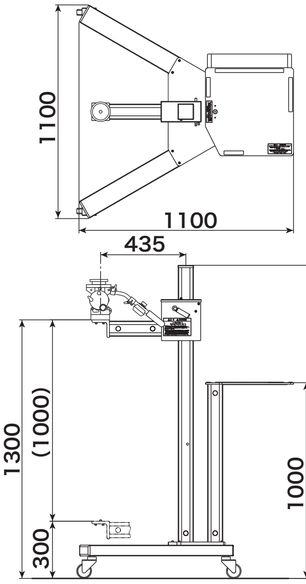
本機の組み立てと設置

1. 各部の名称と設置スペース

本機の設置には、本機の完成寸法に加え、VIVID 9i の取り付けや可動範囲及び作業スペースとして、下図に示す設置スペースが必要となります。

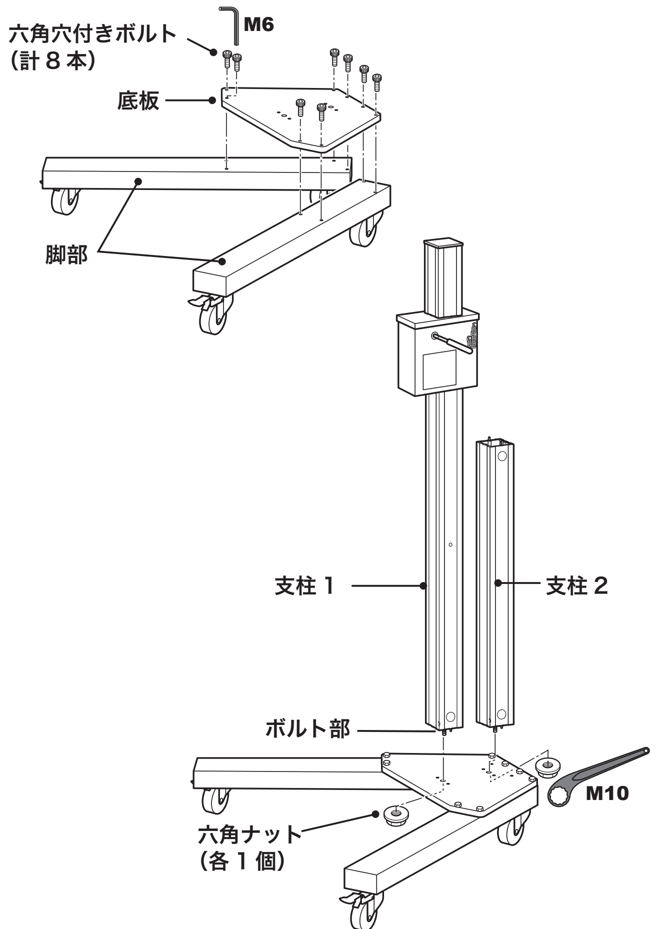


■ 寸法図（単位：mm）



2 . スタンド部の組み立て

本機を以下の順に沿って組み立てます。



① 脚部の固定

- 脚部 2 個を底板で固定します。左右の脚部を、それぞれ六角穴付きボルト 4 本で、底板上面から締め付けて固定してください。
  ※ 脚部には左右の区別があります。底板のねじ穴と脚部のねじ穴の位置を確認して取り付けてください。

② 支柱の取り付け

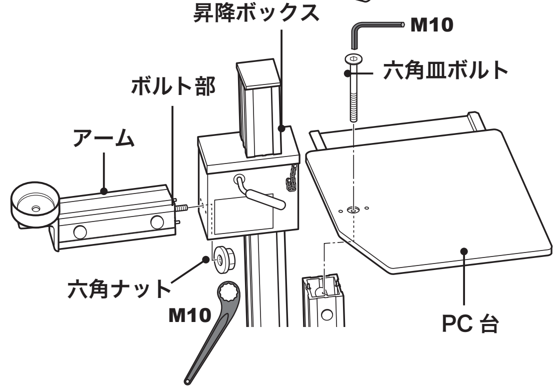
- 脚部を固定した底板に支柱 1, 2 を取り付けます。
  支柱 1, 2 それぞれの底部に備わってるボルト部と位置決めピンを底板の所定の穴に差し込み、裏面からボルト部を六角ナットで締め付けて固定してください。

③ アームの取り付け

- アームのボルト部と位置決めピンを昇降ボックスの所定の穴に差し込み、反対側よりボルト部を六角ナットで締め付け固定してください。

④ PC 台の取り付け

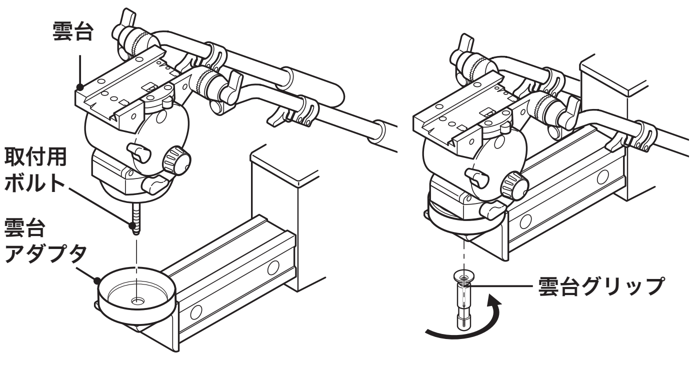
- PC 台を支柱 2 の位置決めピンに合わせて支柱 2 の上面にのせ、六角皿ボルトで固定してください。



3 .VIVID 9i 取付部の組み立て

① 雲台の取り付け

- アーム上に固定されている雲台アダプタに雲台を載せます。雲台下部の取付用ボルトを雲台アダプタの中央の穴に差し込み、アームの裏側から雲台グリップで固定してください。



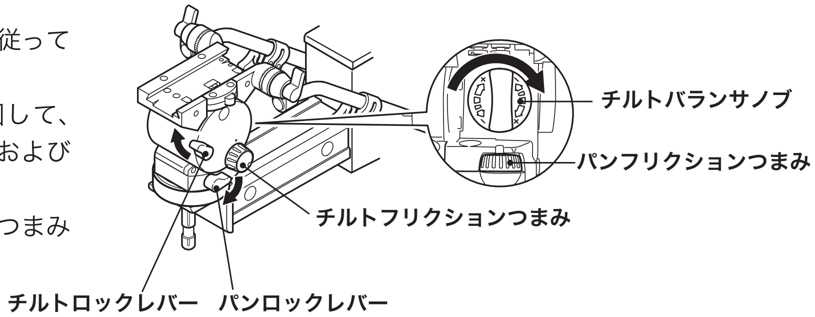
注記

- **アーム上の雲台アダプタは取り外さないでください。**

② カウンタウェイトを取り付ける

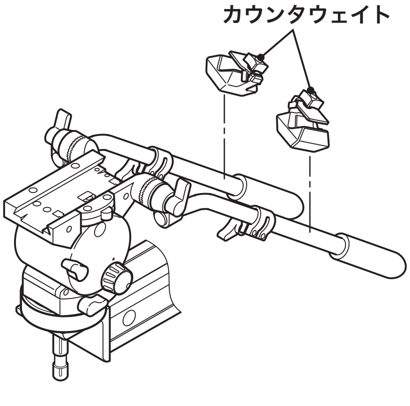
VIVID 9i 取り付け時の安定性確保のため、以下の手順に従ってカウンタウェイトを取り付けてください。

1. 雲台のチルトバランサノブを「+」方向いっぱいに回して、チルトバランサを最強にセットし、チルトロックレバーおよびパンロックレバーを締めます。
2. チルトフリクションつまみを「3」に、パンフリクションつまみを「2」にセットします。



3. 左右の雲台操作アームのグリップ直前の位置に、カウンタウェイトをそれぞれ取り付けます。

- 取り付け位置は必要に応じて微調整してください。

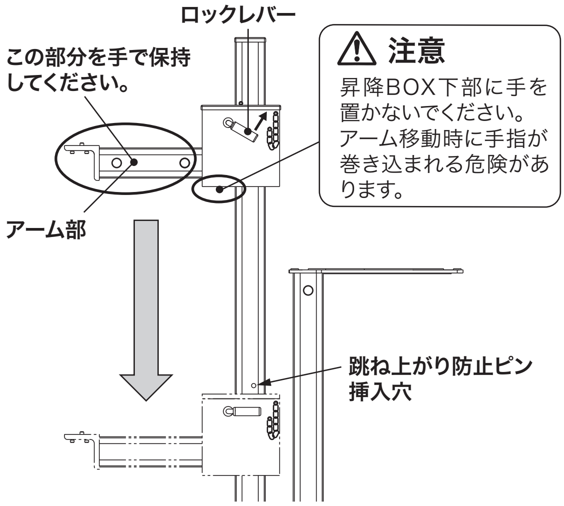


これで、測定スタンドセット VI-B38 の組み立ては完了です。
以下、VIVID 9i を取り付けて使用するための準備を行います。

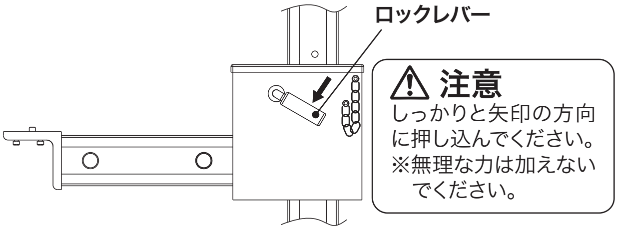
4.VIVID 9i の取り付け／取り外し

① 昇降ボックスを跳ね上がり防止位置へ押し下げる

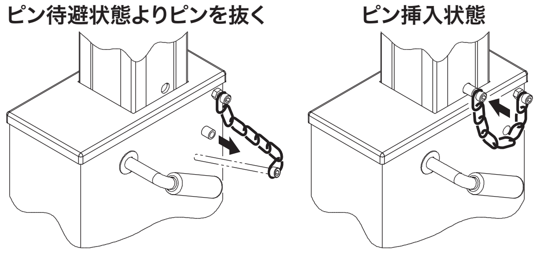
- ロックレバーを矢印の方向に引き上げます。この状態では上方に約 15 ～ 20 kg の力がかかりますので、アーム部をしっかり手で上方から保持した状態で、跳ね上がり防止ピン穴位置まで昇降部を押し下げてください。アームをしっかり保持しないとアームが急激に跳ね上がって指挟みや打撲の危険があります。



- 高さ移動後ロックレバーを元の位置に戻してください。
  レバーは自動で戻りますが、確実にロックするために、軽くロック方向に締め付けてください。跳ね上がり防止ピンを支柱に挿入するまで、アーム部はしっかり保持したままにしておいてください。



- 支柱の穴に跳ね上がり防止ピンを挿入してください。
  ピンは支柱反対側に貫通する状態まで差し込んでください。



② 雲台に VIVID 9i を取り付ける

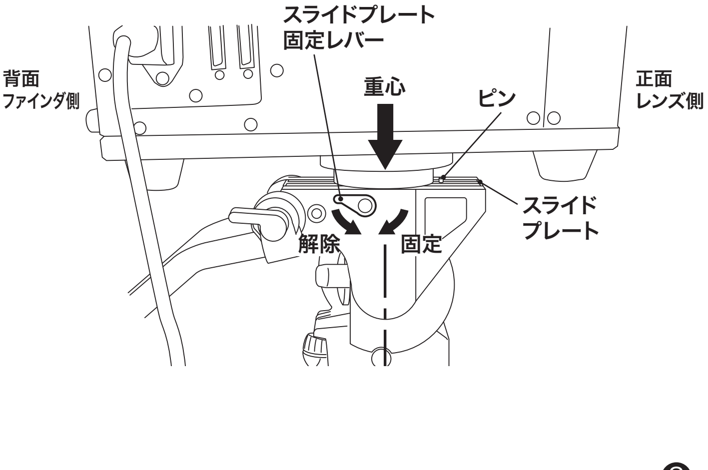
- VIVID 9i を雲台に取り付ける前に、VIVID 9i の底面に三脚座アタッチメントを取り付け、その上にスライドプレートを取り付けてください。
  詳細は、VIVID 9i 取扱説明書の**「三脚への取り付け」**の項をお読みください。
  ※ねじ、ナットは緩みのないようしっかり締め付けてください。

③ 雲台から VIVID 9i を取り外す

- 雲台を水平にしてスライドプレート固定レバーを解除してください。VIVID 9i 本体はスライドプレートごとスライドさせて取り外してください。

注記

- **VIVID 9i の取り付け／取り外しの際は、必ず雲台を水平にしてください。**
- スライドプレートを雲台の前方より差し込み、雲台の中央で固定します。
  （チルト回転中心の真上に重心 / 三脚座アタッチメントの中心がくるようにセットしてください。）

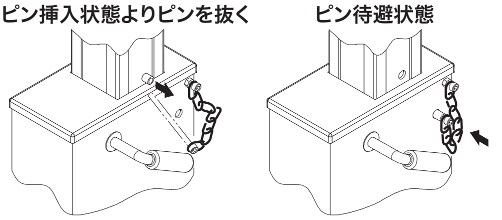


測定スタンドセット VI-B38 を用いた VIVID 9i での測定方法

1 昇降

① 跳ね上がり防止ロックを解除する

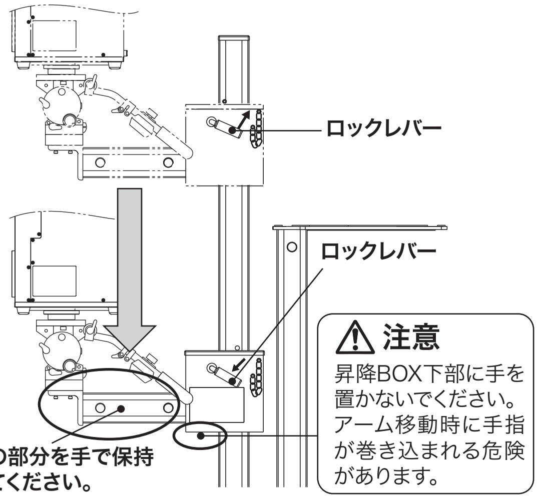
● 跳ね上がり防止ピンを昇降ボックス後方の穴に待避させてください。
※ 通常の使用では、跳ね上がり防止ピンは待避位置でご利用ください。



② 昇降のしかた

● ロックレバーを矢印の方向に引き上げます。この状態で上下動が可能になります。
※ VIVID 9i を取り付けた状態では約 3 〜 4 kg の力が下方にかかりますので、アーム部が落下しないようアーム部を手で支持してください。（昇降ボックス下部を持たないでください。）

● アーム高さ調整後、ロックレバーを元の位置に戻してください。レバーは自動で戻りますが、確実にロックするために軽くロック方向に締め付けてください。



注記

● 電源コードや SCSI ケーブルは適切な長さでご使用ください。短すぎると昇降時にケーブルが抜ける、コネクタが破損するなど機器の破損の原因となることがあります。また長すぎると移動時に周囲のものに引っ掛かる恐れがあります。

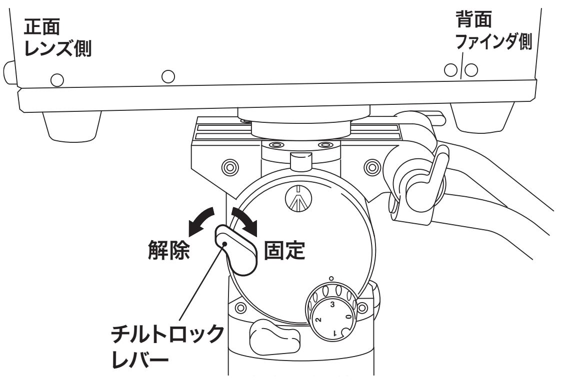
2 前傾姿勢

① チルトロックを解除し操作する

● チルトロックを解除し、雲台操作アームを操作して傾斜角を決めてください。

② チルトロックをかけて固定する

● 傾斜角を決めたら、安定感のあることを確認のうえ、チルトロックをかけて固定してください。

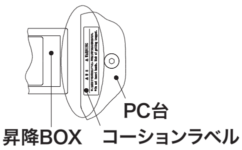


注記

● **チルトロックレバーは、強く締めすぎると破損することがありますのでご注意ください。**
● 30 度以上前傾させるときは、雲台を水平にし、スライドプレートを雲台の後端に移動させて固定してください。

⚠ 注意

● ご使用前に、支柱や脚等の結合部が緩んでいないかをご確認ください。緩みを生じている場合は、ボルトやナットの増し締めをして固定してください。
● 部品に亀裂や大きな曲がりなどを生じている等、具合の悪い部分がある場合は、そのまま使用せずに、本機ご購入の販売店にご連絡ください。
● 水平で平らな場所でご使用ください。床面が歪んでいる場所や傾いている場所では、不安定になることがあります。
● スタンドを移動するときは、VIVID 9i の電源コードや SCSI ケーブルをスタンドのキャスタで踏んだり、それらのケーブルに作業者がつまづいたりしないようご注意ください。
● 毛足の長いカーペット上などではキャスタの動きが悪くなることがあります。タイル面等の硬い床面上でご使用ください。
● 測定中のスタンドの不用意な移動を避けるためには、キャスタをロックしてご使用ください。
● 支柱や PC 台には寄りかかったり持たれたりしないでください。転倒や破損の危険があります。
● PC 台はノート PC を設置することを前提に設計されており、最大許容荷重は 10Kg です。
最大許容荷重を超えるものや、目的外のものは置かないでください。転倒や破損の危険があります。
● PC 台の昇降ボックス近傍には手などを置かないでください。昇降ボックスと PC 台の間に手指を挟み、怪我をする危険があります。（PC 台のコーションラベルをご確認ください。）



● VIVID 9i を取り付けていない状態では、昇降ボックスが急激に 跳ね上がり、指挟みやアーム部による打撲の危険があります。VIVID 9i の着脱時や本機の保管時は、昇降ボックスを所定の 位置に下げ、必ず跳ね上がり防止ピンを支柱に差し込んで作業をしてください。
● 支柱 1 背面のワイヤ部には手を触れないでください。手指に擦り傷を負う危険があります。
● 支柱 1 には強力なばねが内蔵されています。危険ですので、支柱 1 および昇降ボックス部は絶対に分解しないでください。
● 本機の昇降ボックスや支柱面に注油しないでください。ブレーキ機構が働かなくなり、必要な位置に固定できなくなるおそれがあります。なお、本機はお客様に注油していただく必要のある箇所はございません。
● 昇降ボックス等、可動部の動作が悪いなど異常を生じたときは、本機ご購入の販売店にご相談ください。
● 雲台のチルトロックレバー、パンロックレバー、および、昇降ボックスのロックレバーは、締めすぎると破損することがありますので、ご注意ください。
● 本機に付属のボルト、ナット、ねじ類を紛失または破損したときは、市販品で代用せず、メーカにご連絡ください。市販品を代用すると、強度不足等により、本機が破損したり、怪我をする危険があります。